

種の概要

北海道から九州に分布。内湾奥部や河口部の泥底・砂泥底に生息する。水管は著しく長く伸長し、成貝では泥中に深く潜在する。殻長50mm程度になり、殻は卵形で膨らみは弱く、やや薄質。後端は少し突出する。殻表は成長線が密にあり、白色で光沢を欠き、殻皮は灰褐色。内面は白色。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。淡路島北部東岸の砂泥干潟で生貝1個体と中部の内湾最奥部の泥底で半片1個体のみ確認されている。

保護上の留意点

泥深く潜ることで確認数が少ないと言えるが、泥深い軟泥干潟の存在は限られており、現存するこの干潟を消失させないようにすること。



写真提供：川渕千尋

